

事 務 連 絡

平成19年4月27日

都道府県・指定都市老人医療主管課（部）長 殿

都道府県国民健康保険主管課（部）長 殿

都道府県後期高齢者医療広域連合事務局長 殿

厚生労働省保険局

高齢者医療制度施行準備室

後期高齢者医療広域連合電算処理システム仕様書
システム構成編の修正について

標記仕様書については、4月5日開催の後期高齢者医療広域連合電算処理システム仕様書等に係る説明会においてご説明したところでありますが、システム構成編において一部修正及び変更を行いましたので、別添の正誤表について、ご参照願います。

なお、修正後の後期高齢者医療広域連合電算処理システム仕様書システム構成編（第1.1版）については、社団法人国民健康保険中央会のホームページにある「国保中央会データベースシステム」に掲載しましたので、ご活用ください。（URL：<http://www.kokuho.or.jp/>）

また、貴都道府県内の市町村（特別区含む。）にも周知が図られますようお願いいたします。

【システム仕様書第1.1版等の正誤表】

本資料は、平成19年4月9日付提示版(第1.1版)からの修正事項をまとめたものです。

(システム構成編)

項番	修正ページ (第1.1版)	修正箇所	修正内容
1	29	表4-11 窓口端末のソフトウェア構成	<p>資源管理ソフトの備考欄を以下のとおり修正し、欄外に注釈を追加する。 修正前「必須」 修正後「必須(1)」 「1 広域連合 - 市区町村間のネットワークがLIGWANの場合、必要性については広域連合で検討すること。」</p> <p>28頁の表4-10 資源管理ソフトと同様の扱いとする。</p>
2	30	表4-13 動作確認されるWebアプリケーションサーバ	<p>上段の形名欄を以下のとおり修正し、欄外に注釈を追加する。 修正前「 - 」 修正後「 - (1)」 「1：形名に関しては購入する代理店によって異なる。」</p>
3	31	表4-15 帳票ソフトウェア	<p>上段の形名を以下のように変更する。 修正前：SVF-WJ1 修正後：SVF-WJ2-CO</p> <p>製造元のウイングアークテクノロジー(株)との調整の結果、後期高齢者医療広域連合電算処理システムの構成に適した専用形名を付して、提供する旨の申し出があった。なお、標準価格は前回提示の形名(SVF-WJ1)と同等である。</p>

4. 2. 2 端末ソフトウェア構成

窓口端末のソフトウェア構成を表 4-1 1 に示す。

表 4-1 1 窓口端末のソフトウェア構成

ソフトウェア	内容	備考
OS	Windows XP Professional SP2	必須
Web ブラウザ	Internet Explorer 7.0	必須
PDF クライアント	PDF ファイルの表示/印刷をするツール。	必須
資源管理ソフト (エージェント)	サーバ, 端末の IT 資産情報の管理, ソフトウェア配布, リモート操作を行うソフトウェア。	必須 (※1)
ウィルス対策ソフト (エージェント)	侵入したウィルスの感染拡大防止, 駆除を実行し管理サーバへ結果をおくるソフトウェア。	必須
外字管理ソフト	残存外字の同定作業や, フォント, 文字コードの管理をサポートするソフトウェア。	必須
日本語入力ソフト	住基ネット統一文字に基づいた日本語入力を行うためのソフトウェア。	必須
メールクライアント	メールを受信するためのソフトウェア。	必須 (※2)

※1 広域連合—市区町村間のネットワークが LGWAN の場合, 必要性については広域連合で検討すること。

※2 窓口端末が複数ある場合は, いずれか 1 台に必須。

4. 3 ソフトウェア仕様

本システムは, 今後, 長期間運用されるシステムであるため, ソフトウェアの選定においては, 保守性などを十分考慮し選定すること。

4. 3. 1 OS

(1) サーバ

OS は, クラスタ構成にする場合は Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition(25CAL), シングル構成にする場合は Windows Server 2003 R2 Standard Edition(5CAL)とすること。

(2) 端末

OS は, Windows XP Professional SP2 とすること。

4. 3. 2 HTTP サーバ

HTTP サーバは表 4-1 2 に示すソフトウェアを使用すること。

表 4-1 2 HTTP サーバ

名称	製造元
・ Internet Information Service 6.0 (Windows Server 2003 に標準搭載)	マイクロソフト(株)

4. 3. 3 DNS サーバ

Windows Server 2003 の機能を使用すること。

4. 3. 4 メールサーバ

Windows Server 2003 の機能を使用すること。

4. 3. 5 NTP サーバ

Windows Server 2003 の機能を使用すること。

4. 3. 6 Web アプリケーションサーバ

以下の仕様を満たすソフトウェアを使用すること。また、各サーバに導入する Web アプリケーションサーバは必ず同一製品とすること。

(1) 以下の標準仕様に準拠していること。

J2EE1.3 以降

J2EE(Servlet2.3, JSP1.2, EJB2.0, JDBC2.0, RMI-IIOP1.0)

(2) JDK のバージョンは、1.4 以上であること。

(3) Java バッチプログラムの実行が可能であること。

(4) 高負荷時の安定動作を考慮した機能を有すること。

(5) 障害時のログ解析などのトレースを行う機能を有すること。

なお、配布される標準システムで動作確認されるソフトウェアは、表 4-13 のとおりである。

表 4-13 動作確認される Web アプリケーションサーバ

名称	形名	製造元
・ BEA WebLogic Server Advantage Edition (V9.2J)	－ (※1)	日本 BEA システムズ(株)
・ uCosminexus Application Server Standard 07-10	P-2443-7D74	(株)日立製作所
・ uCosminexus スタンドアロン実行環境 07-00 (※2)	P-243Z-7184	

※1：形名に関しては購入する代理店によって異なる。

※2：市区町村の窓口処理サーバ、広域連合内の AP サーバに必要。

4. 3. 7 プログラム実行環境

プログラム実行環境は表 4-14 に示すソフトウェアを使用すること。

表 4-14 プログラム実行環境

名称	形名	製造元
・ COBOL2002 Net Server Runtime	P-2436-5314	(株)日立製作所
・ 日立コード変換 - Server Runtime	P-265Z-1124	

4. 3. 8 帳票ソフトウェア

帳票ソフトウェアは表 4-15 に示すソフトウェアを使用すること。

表 4-15 帳票ソフトウェア

名称	形名	製造元
・SVF for Web/PDF Java Edition ・Universal Connect/X	SVF-WJ2-CO UC-WX	ウイングアーク テクノ ロジーズ(株)

なお、標準システムのカスタマイズが必要な場合は表 4-16 に示すソフトウェアの使用を検討すること。

表 4-16 カスタマイズに必要なソフトウェア

名称	形名	製造元
・SVFX-Designer	SVX-XS	ウイングアーク テクノ ロジーズ(株)

4. 3. 9 データベースソフト

データベースソフトは表 4-17 に示すソフトウェアを使用すること。

表 4-17 データベースソフト

名称	製造元
・Oracle Database 10g Enterprise Edition ・Oracle Real Application Clusters	日本オラクル(株)

※ただし、「6 システム運用要件」「7 セキュリティ要件」の各要件を満たすのであれば、各広域連合にて検討の上、Oracle Database10g Standard Edition での代替も可能とする。

4. 3. 10 SORT

以下の機能を満たすソフトウェアを使用すること。

- (1) ソート、選択、集約など、目的に合わせたレコードの並べ替えることができること。
- (2) ISAM 形式等のさまざまなファイル形式に対応していること。
- (3) 高速処理を実現していること。

4. 3. 11 日本語入力ソフト

日本語入力ソフトは表 4-18 に示すソフトウェアを使用すること。

表 4-18 日本語入力ソフト

名称	製造元
・KAJO_J 入力システム 後期高齢者医療広域連合電算処理システム対応版	日本加除出版(株)